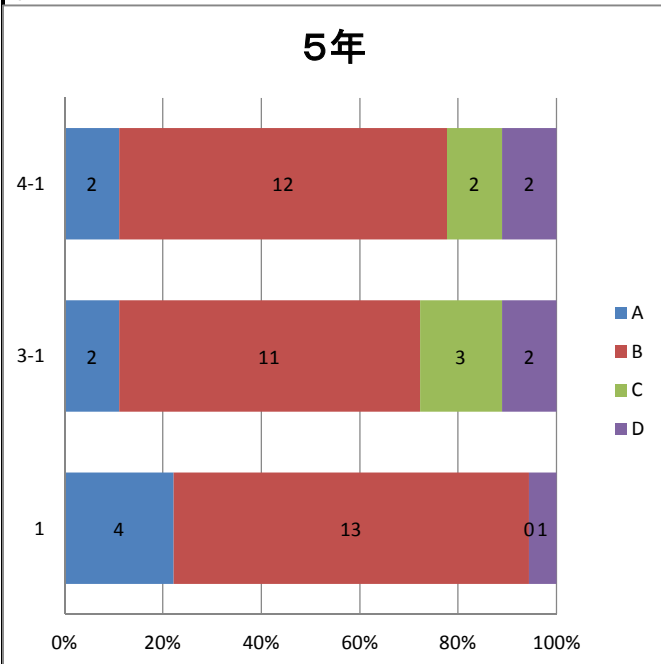


1. あなたは、算数の^{じゆぎよう}授業は楽しいと思いますか。 とても まあまあ あまり 全く楽しくない
 右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。 ┌───┬───┬───┬───┐
- 2-1, 1で「とても」「まあまあ」と答えた人は、どんな時そう思いますか。
 (いくつ選んでもよいです。)
- 2-2, 1で「あまり」「全^{まった}く楽しくない」と答えた人はどんな時、そう思いますか。
 (いくつ選んでもよいです。)
- 3-1, あなたは、新しい問題をとくとき、図や数直線をかいて いつも 時々 ほとんどしない 全くしない
 考えようとしていますか。右のメモリで当てはまるものに○ ┌───┬───┬───┬───┐
 をつけてください。
- 3-2 「ほとんどしない」「全^{まった}くしない」と答えた人は、自
 分の考えに合うものを下から選んで○を付けてください。
- 4-1, あなたは、自分の考えを説明する時に、図や数直線を使 いつも 時々 ほとんどしない 全くしない
 おうとしていますか。右のメモリで当てはまるものに○ ┌───┬───┬───┬───┐
 をつけてください。
- 4-2 「ほとんどしない」「全^{まった}くしない」と答えた人は、自分の考えに合うものを下から選
 んで○を付けてください。
- 5, どうすれば算数をもっと楽しくなると思いますか。
 思いついたことをいくつでも書いてください。思いつかない場合は空 くうらん欄でよいです。

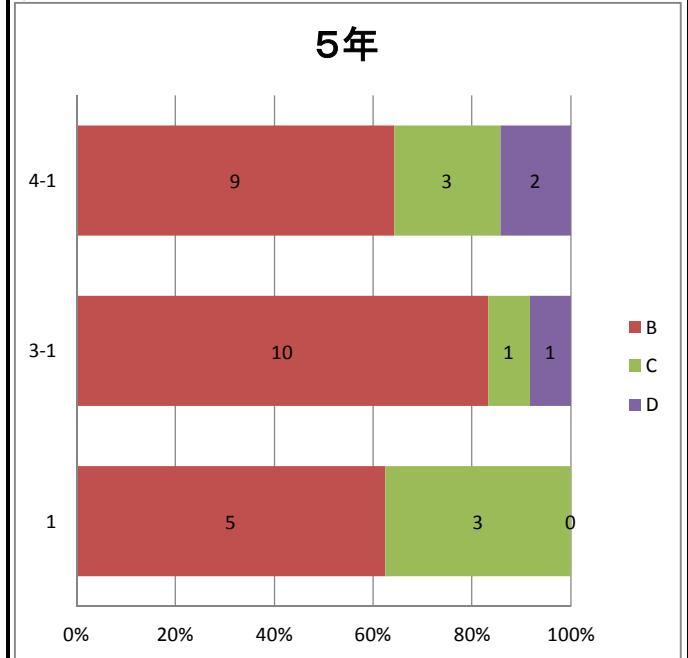
第1回



分析・傾向

全体のほとんどの児童は、「算数の授業は楽しい」と感じている。特に「算数計算ができた時」や「自分なりに問題とくことができた時」にそう感じる児童が多かった。「楽しくない」と答えた1名の児童は、その理由として「むずかしい問題をとくとき」をあげている。学級の約3割の児童が問題を解くとき図や数直線を用いていない答えている。図や数直線をかくのが苦手ということ、その理由としている。高学年の問題文は、図や数直線を投げ所として考えたり説明したりすることが大切であり、これらの児童を2学期にどのように指導していくかが課題である。

第2回



分析・傾向

全体のほとんどの児童は、「算数の授業は楽しい」と感じている。この点は1学期とほとんど変わっていない。「楽しくない」と答えた1名の児童は、その理由として、やはり「むずかしい問題をとくとき」をあげている。3学期は、学級の約9割の児童が問題を解くとき図や数直線を用いていると答えている。これは、「数直線かき方表」の成果ではないかと考えられる。確かに図や数直線をかくのは難しいが、一度身に付けるとその力は大きな力になる。学級の児童は「単用量あたり」のような難しい問題が自力で解決できるようになったことが、3学期は「数直線を積極的に使おう」としている理由ではないかと考える。高学年の問題文は、図や数直線を投げ所として考えたり説明したりすることが大切であり、「数直線かき方表」のような具体的な手だてを取る必要がある。「数直線の説明表」を使っているが、その効果は現れていない。今後の課題としたい。